

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03 (3581) 6211 (代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

山田みき

特集号
さん

自民党東京都第一選挙区支部長 元環境副大臣
前衆議院議員（千代田区・新宿区）

令和8年の幕開けとなりました。山田みきさんは、年末年始も火の用心の夜回りや餅つきをはじめ各地の行事に積極的に参加しています。今年で政治活動15年目を迎える山田みきさんに、新年の抱負を伺いました。



昭和元年から101年目、そして新たな四半世紀が始まります。

わが国の未来を見据え、日本を支える働き盛り世代の一員として、①脱デフレ時代の経済構造改革、②エネルギーと食糧の安定供給、③国防力の強化、④命と暮らしの安心・安全、そして⑤自分の「好き」が実現する社会づくりに向けて全力を挙げてまいります。

山田美樹



「**努力が報われる社会へ**」今年も全力で活動します！

令和7年度「総合経済対策」補正予算が決定しました！

政府は、物価高や人手不足など、暮らしと経済を取り巻く課題に対応するため、**総額 18.3 兆円**（コロナ禍後最大）の補正予算を編成しました。このうち約 **8.9 兆円**は、物価高による家庭や事業者の負担を軽くするための「生活の安全保障」対策に充てられます。生活を支える主な支援策についてご紹介します。



① ガソリン・軽油など燃料の負担軽減（1兆5,000億円規模）

急激な物価高に対応するため、昨年末ガソリン税の暫定税率（上乗せ部分）を廃止。軽油引取税は今年4月1日に廃止され、輸送コストにも好影響があるとされています。

▶ 1世帯あたり約**12,000円**の負担軽減が見込まれます。

② 電気・ガス料金の負担軽減（5,296億円）

エネルギー価格の高止まりを受け、電気・ガス代の支援を再実施。生活コストに直結する支出を下支えする施策です。

▶ ・1世帯あたり約**7,300円**（3か月分）の軽減効果
・実施期間：今年1～3月

③ 子育て世帯への支援拡充（3,677億円）

物価高の影響を強く受けている子育て世代の教育費や生活費を応援します。新生児等を除き、申請をしなくても自治体からご案内が届きます。

▶ ・0歳～高校3年生まで
1人あたり**20,000円**を支給
・可能な限り早期に支給開始

④ 重点支援地方交付金（地方自治体の支援メニュー拡充）

東京都では、国の交付金（744億円）に加えて都の独自財源（338億円）で実施。物価高から都民と都内事業者の負担軽減を図ります。

▶ ・東京アプリ生活応援事業
⇒ 1人あたり**11,000ポイント**付与
・赤ちゃんファースト+（プラス）
⇒ 出生1人につき**30,000円**を支給
・都内事業者支援 ⇒ **総額 178億円**

⑤ 所得税「年収の壁」見直し（1兆2,000億円規模の減税）

働き方を制約していた「年収の壁」問題の改善。パート・アルバイトの働き方調整を緩和し、労働力確保にもつながる施策です。

▶ ・納税者1人あたり
20,000～40,000円程度の減税
・実施は昨年12月の年末調整から

⑥ 医療・介護など現場支援 1兆3832億円

医療・介護・障害福祉分野の現場で働く方々の賃上げを支援。ICT導入による生産性向上や職場環境改善の取組を支援します。

▶ ・賃上げ・物価上昇に対する支援
・施設整備の促進に対する支援
・生産性向上に対する支援 ほか

※ 主なポイントのみ抜粋（令和7年12月17日時点）

山田みきさんの活動報告と令和8年の抱負



千代田区・新宿区での地元活動と共に、山田みきさんが力を入れていることは地元地域の皆様やビジネスマン・中小企業経営者の皆様、医療福祉関係者の方々を対象とした講演活動です。昨年後半の講演の中でご質問の多かった話題について、令和8年の抱負とともに、山田みきさんに語っていただきました。

山田みきさんの最近の講演

- 医療費を巡る最近の議論と提言
- トランプ関税と日本の製造現場
- 未来予測「2050年の日本」
- 仕事とファッション
～SDGsと循環経済
- 自民党の政策形成プロセスの変化

■新たな日印の絆～インド北東部へ

パネリストを務めたシンポジウム

- ふるさと納税とトランプ関税
- エビデンスに基づく市民主体の医療政策



「物価高対策、社会保障、教育、外交・安全保障、違法外国人」皆様からの質問にお答えします

物価高対策

深刻な物価高に対して、政府は有効な対策を打てるのでしょうか？

コメ、食品、光熱費。デフレ脱却を目指してきたはずなのに、今や物価上昇で日々の暮らしが厳しくなり、特に年金受給者は深刻な影響を受けています。まずは積極財政で物価高を乗り越え、年収の壁の引き上げによる所得税制見直しや福祉分野の処遇改善を進め、物価高に負けない足腰の強い家計をつくります。

特に、物価高の影響を最も受けているのは、仕入れ価格の上昇を販売価格に転嫁できず、苦境に立たされている中小・小規模事業者です。取引慣行の是正や価格交渉力の強化を支援し、持続可能な経営が実現できる仕組みを整えます。



R7.5.31：新宿区内の米店にて政府のコメ政策への要望を伺う

社会保障

子育て支援強化の一方で、高齢者医療費の削減を心配しています。

社会保障改革は、すべての人が安心して暮らす礎です。高齢者か、子育て世代かといった二者択一の議論を改め、世代を問わず公平に支えられる制度を構築します。

第一に予防医療への公的支援を拡充し、中長期的な負担の適正化と社会保障財源の安定化を図ります。その上で、保険料の使途を見える化し、お金の使われ方への納得感を高めます。さらに、医療関係者と連携し、現場の努力が正当に評価される診療報酬体系を整備します。

ご高齢者の方々がこれからも安心して医療サービスを受けられるよう、持続可能な社会保障を実現します。



R7.5.13：自民公明の厚生労働系の前議員で社会保障制度改革を提言し記者発表

教育

急速な時代の変化のなかで、日本のこども達に必要な教育とは？

AIとの共生、グローバル化、気候変動。これらの世界レベルの課題に立ち向かうには、時代の変化を読み取り、未来の世界を描く「構想力」を養うと同時に、わが国日本への理解と誇りを持つ「基軸力」の両方を育てなければなりません。

教育への投資が日本の未来を拓きます。相手を理解し、自分を表現できる英語力の強化に加え、国内外の知見を融合した探求型教育プログラムを公教育に導入し、知識の習得だけでなく、課題発見と創造的思考を重視した学びを通じて、日本と世界に貢献できる人材を育てます。



R7.10.18：新宿区内幼稚園の運動会でこども達を激励

外交・安全保障

日本の外交・安全保障の強化のために何が必要でしょうか？

外交と安全保障は理想論だけでは成り立ちません。国際情勢が不安定さを増す昨今、対話と現実的な抑止力は車の両輪です。

憲法改正により「自衛隊」を明記し、その装備・体制の強化や自衛隊員の処遇改善を進め、国家主権や領土・領海への挑発には断固たる姿勢で臨みます。外務政務官として務めた130件超の会談や国際会議、経営コンサル時代の海外プロジェクトの経験を活かし、相手国との対話の扉を開ざすことなく、むしろ対話を深め、わが国の平和と安定を守り抜くとともに、自由で開かれたインド太平洋を推進します。



R7.9.30：市ヶ谷自衛隊友の会顧問として立川駐屯地の災害用ヘリを視察

違法外国人

違法な外国人を巡るトラブルに対して、国の対応をお願いしたい。

都市の多様性は日本の大きな力。しかし今日、これまで私たちが大切にしてきた地域の暮らしが脅かされています。一部の外国人による住民税や社会保険料の未納、違法民泊の拡大、投資目的によるマンションの購入、入居トラブル、騒音やゴミ出しマナーの問題などが、地域の秩序や安心安全を損ねています。

法令違反者には入国禁止など厳しい措置を講じるとともに、生活ルールの周知と遵守を徹底します。安心と規律が支える都心の暮らしを守るため、地域の声を政策に反映させ、ルールある共生社会の実現を目指します。



R6.4.24：元自民党法務部会長として衆議院法務委員会での入管法改正の質疑

山田みきさんプロフィール

昭和49(1974)年3月15日東京都生まれ。東京大学法学部卒、コロンビア大学経営学修士(MBA)。通商産業省(現 経済産業省)、内閣官房を経て、ボストンコンサルティンググループ、エルメスジャパンに勤務。第46回衆議院議員総選挙で東京1区(千代田区・港区(当時)・新宿区)から初当選。第三次安倍改造内閣にて外務大臣政務官、第二次岸田改造内閣にて環境副大臣を務める。当選4回。元自民党法務部会長、元自民党副幹事長

山田みき 四谷事務所

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14 森田屋ビル 501号
TEL: 03-6273-1282 FAX: 03-6273-0100



Home Page



Instagram



YouTube



note